

砂質土・シルト・粘性土など住宅建設予定地の地盤内地下水位の測定が、正確に測定できます

地震時の地盤液状化判定に利用できます

# ロープ式水位計



水位センサー先端が20mm水中に入ると電子音でお知らせします。

## ■国土交通省告示 第1113号

地震時に液状化するおそれのある住宅地盤の場合、または三項に掲げる式を用いる場合において基礎の底部から下方2m以内の距離にある地盤に、SWS試験加重が1kN以下で自沈する層が存在する場合、もしくは基礎底部から下方2mを超え5m以内にある地盤にSWS試験荷重が500N以下で自沈する層が存在する場合には、**建物の自重による沈下、その他の地盤の変形等を考慮して建築物に有害な損傷、変形及び沈下が生じない事を確かめる事を義務付けています。**

三項： $qa=30+0.6N_{sw}$

$qa$ ：地盤の許容応力度(単位 kN/m<sup>2</sup>)

$N_{sw}$ ：基礎の底部から下方2m以内の距離にある地盤のSWSにおける1mあたりの半回転数(150を超える場合は150とする。)の平均値(単位回)

\*補足  $qa_{ii}=30W_{swi}+0.6N_{swi}$

## ■水面検出反応

水位センサー先端が水中に20mm入ると水面をキャッチし、お知らせします。  
センサー外径：7mm



SWS試験終了後、予めSWS試験孔にSWS孔壁保持金具を立込み、水位センサーを入れ水位の測定を行います。

■水位測定深度は約6m程度まで測定可。

本機はSWS試験孔を利用して地震時における地盤の液状化簡易判定を目的に、地下水位測定用として考案しました。

## スウェーデン式サウンディング試験孔を利用した地下水位の測定ができます。

■「小規模建築物のための、地盤の簡易液状化判定法ハンドブック」をご希望の方に無料配布しております。メールにて申込下さい。折り返しメールに添付、お送りします。

# ロープ式水位計



ロープ式水位計仕様	
■センサー付きロープ	6mタイプ
■SWS試験孔壁保持金具	L=5m
■サンプリングドリル (試験試料を1回で約500g採取できます。SWS貫入ロッドが接続できます。)	

## SWS試験孔壁保持金具 (標準:L=5m)

- ①先導管 (外径27mm)
- ②有孔管 (先端鋭利)
- ③有孔管 (外径13mm)
- ④有孔管
- ⑤無孔管
- ⑥有孔管 (回収用)
- ⑦押し込み金具 (有孔管が入らない時、押し込みに使用)

試験終了後のSWS試験孔に①先導管を差込み、②有孔管 (先端鋭利) ③有孔管④有孔管最後に⑥有孔管 (他の有孔管回収機能) を順次、立込み、地下水水位が安定した20分位後に水位測定、測程後①先導管を引上げる事で他の有孔管全てを回収できる構造になっています。  
(内径が10mm程度の ステンレス管、塩ビパイプでも併用できます)


### ⑥サンプリングドリル

サンプラー部の外径30mm、全長は480mm、ロット接続部ネジはスエーディング式サウンディングのロットを接続できます。試料採集予定位置で回転させるだけで、液状化判定を目的に粒度試験試料の採集が速やかに出来ます。(サンプラー全長700mm) 1回で採集できる試料は湿潤重量で約480gです。粒度試験に必要な試料200g (湿潤重量) ですので1回のサンプリングでOKです。

⚠ ご注意 本カタログに記載の商品は機能向上を目的に、予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。

■取扱店

■総発売元

 株式会社 計測技研

〒011-0901 秋田県秋田市寺内字イサノ92-1  
TEL.018-862-1139 (代) FAX.018-862-1964  
東京支店・浜松出張所・九州・沖縄統括事業所

<http://www.k-giken.com>

●お問合せは 7 0120-963-862